

(再評価)

資料3-2(1)

確認結果

河川事業

再評価原案準備書説明資料(案)

尻別川直轄河川改修事業

令和3年度
北海道開発局

◇尻別川直轄河川改修事業の総便益

- ⑤便益（洪水被害） 176億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑥便益（残存価値） 2.3億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑦総便益【B】 178億円（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

事業全体

- ◆費用便益費（B/C） 178億円／117億円=1.5
- ◆純現在価値（B-C） 178億円-117億円=61億円
- ◆経済的内部収益率（EIRR） 6.2%

※算出条件 整備期間：平成22年度～令和10年度（19年間） 評価対象期間：平成22年度～令和60年度（整備期間+50年間）

残事業

- ◆費用便益費（B/C） 147億円／24億円=6.2

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和10年度（7年間） 評価対象期間：令和4年度～令和60年度（整備期間+50年間）

当面整備

- ◆費用便益費（B/C） 90億円／15億円=5.8

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 評価対象期間：令和4年度～令和57年度（整備期間+50年間）

確認後：1.5~1.5

感度分析

- ◆事業費 (+10%~-10%)
- ◆工期 (-10%~+10%)
- ◆資産 (-10%~+10%)

残事業のB/C

- (5.6~6.8)
- (6.1~6.2)
- (5.5~6.8)

事業全体のB/C

- (1.5~1.6)
- (1.5~1.5)
- (1.4~1.7)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。